

地域で「世代を超えた顔なじみ」を創造する活動

和歌山県海南市

■ 活動名

たつみの子どもを育てる会

■ 関係する学校

巽幼稚園・巽小学校・巽中学校

活動区分	基本データ			
	学校支援 地域本部	コーディネーター数 2人	ボランティア登録数 200人	開始年度 20年度
放課後 子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	実施場所		開始年度	放課後児童 クラブとの連携
コミュニティ スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
その他				

※H24年度の実績(補助の有無についてはH25年度の状況)

活動の概要

巽地域では、地域の自治会や婦人会等様々な団体が集まった「たつみの子どもを育てる会」を設立し、充実した学校支援活動を実施している。

学校環境整備として、植栽の剪定・伐採、花植え等が年数回実施されている。また、子供の下校時の安全を見守るための活動も盛んである。

しめ縄作りやパン作り、稲刈り等の様々な体験授業（地域ふれあい活動）が行われており、その実施主体として活動している。その中でも、2泊3日の通学合宿は、地域が一丸となって実施しており、充実した内容となっている。

市全体として、30代40代の方々の地域への参加促進が課題となっているが、巽地域では「たつみの子どもを育てる会」の構成団体である「おじの会」があり、30代40代男性の会員の方々が、通学合宿を始めとする各活動に活発に参加している。

「たつみの町づくり協議会」は、巽地域を住みよい町にすることを目的とし、自治会や老人会・青少年育成補導協議会等20団体の代表者で組織した連絡協議会である。

また、「たつみの町づくり協議会」を構成する団体の代表者から若干名と巽幼稚園・小・中学校の関係者によって構成されている「たつみの子どもを育てる会」を年数回実施しており、地域が一体となって子育て支援や子供の安全確保に協力することを旨とし、構成団体間での情報の共有化を図っている。

■ 特徴

【特徴的な活動内容】

巽コミュニティセンターを拠点として、2泊3日の「通学合宿」事業を実施している。本事業では、児童が巽コミュニティセンターに宿泊し、集団で巽小学校に通学することとなり、児童は料理等の集団生活を体験するとともに、地域のボランティアとふれあうこととなる。また、地域のボランティアが3日間で延べ約100人も参加する等、地域にとっても重要な事業になっている。

【実施に当たっての工夫】

平成20年度から開始した「通学合宿」は、当初は海南市青少年育成市民会議が実施していたが、地域の教育力向上や地域住民の主体的力量形成をめざし、事業の企画・立案や当日の運営などを地域へ移行した。このことで、平成22年度からは巽地区が主催で事業を実施しており、地域住民が互いに様々なアイデアを出しながら事業を企画・運営できるようになった。(地元出身の教員志望大学生や大学院生をメンタルフレンドとして通学合宿に招待し、参加児童とふれあってもらおうとする等のアイデアが実際に採用されている)

■ 事業を実施して

本事業では「地域の子供は地域で育てる」という観点を大切に事業を実施しているが、事業を通して大人と子供の関係が形成されるだけでなく、地域の大人同士のつながりも深められている。また、事業終了後に、参加児童の保護者へのアンケートを実施しているが、保護者からも「地域で子供を育ててもらっていると感じている」という意見が多数寄せられている。

地域の人間関係が希薄化している時代において、新たな人間関係を創り出す貴重な事業となっている。



消防団とプール掃除



通学合宿



木工授業の支援